



## 複合商業施設『アリオ亀有』での市街地広報



東京地本新小岩募集案内所（所長 山本2等陸尉）は11月3日（土）、葛飾区の複合商業施設『アリオ亀有』において、第1偵察隊（練馬）の支援を受けて自衛官募集・広報活動を実施した。

当該イベントは12月以降に実施される自衛生の追加募集及び来年度の自衛官等採用試験に向けた募集対象者情報の獲得を目指すとともに、近傍の地域に駐屯地が無い葛飾区民等に対して自衛隊の活動を周知して防衛意識の拡充を図るため企画した。

イベント当日は、親子連れをはじめ多数の来場者が集まり、偵察警戒車等の装備品展示、現役隊員によるラッパ吹奏、子供用戦闘服等の試着、ドリル展示などそれぞれ長蛇の列になるほどの賑わいをみせ、特に、偵察警戒車の上に乗って子供との写真撮影を楽しむ家族連れや現役隊員及び広報官に装備品等の説明を求める熱心な来場者など普段接する機会のない自衛隊とのイベントを満喫している様子であった。

また、一昨年、自衛隊を定年退官し、現在浅草の東京演芸協会に所属しているラッパ芸人トリントン海野氏も飛び入りでラッパ漫談を披露して一緒に会場を盛り上げてくれた。来場者からは「戦車のような車両やバイクを間近で見ても、あらためて自衛隊に対して強さやたくましさを感じた」「初めてラッパ吹奏を聞きましたが、唇だけであんな音が出るとは思わなかったので驚きました。」等の声や先般の北海道胆振東部地震等における災害派遣活動に対する感謝や激励の言葉を多数いただいた。

東京地本新小岩募集案内所では今後も地域に密着した募集・広報活動を実施するとともに、関係部隊等とも連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げるとしている。

## 東京電機大学学園祭でラッパ漫談



東京地本足立地域事務所（所長 只野 光彦 2等陸尉）は11月3日（土）、足立区に所在する東京電機大学の東京千住キャンパスで開催された学園祭『旭祭』において第1普通科連隊第5中隊（練馬）のラッパ手3名（五十嵐3曹、福田3曹、宗像士長）及び一昨年自衛隊を定年退官し、現在は東京演芸協会所属の芸人として活躍中のトリントン海野氏によるラッパ吹奏等を支援して自衛隊に関する広報活動を実施した。

当該イベントに自衛隊が参加したのは今年が初めてであり、来年度の一般幹部候補生採用試験をはじめ、自衛官候補生等の募集対象者情報の獲得に向けた環境整備を目指すとともに、近傍の地域に駐屯地が所在しない足立区民等に対して自衛隊の活動を周知するために企画した。

当初、海野氏が自衛隊と米軍の起床や食事時間を告げるラッパ吹奏、指笛の演奏、また自身の体験談として2000年に三宅島雄山が噴火した際の災害派遣活動の現地でのエピソードなどを時にはユーモアを交えながら学生や会場に訪れた来場者に漫談した。

さらに、第1普通科連隊のラッパ手とのコラボでは、速足行進時のラッパ吹奏や軍歌「海行かば」などを吹奏して会場から盛大な拍手が送られた。

ラッパ吹奏を聞いていた学生達からは「すごくカッコよくて感動しました。ありがとうございました。」「来年絶対受験します。頑張ってください。」等の声が聞かれ所望の成果を得ることができた。

東京地本足立地域事務所では今後も地域に密着した広報活動を部隊等と連携しながら実施して、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げるとしている。

## 即応予備自衛官雇用企業主等を部隊研修へ招聘 ～陸・海・空自衛隊の部隊（那覇）及び史跡を研修～



自衛隊東京地方協力本部は、11月8日（木）から10日（土）までの間、即応予備自衛官雇用企業主等を招へいして、部隊研修を実施した。

この部隊研修は、即応予備自衛官の雇用、訓練出頭に関する理解を促進することを目的として毎年計画しており、今回は南西諸島防衛の中核を担う陸上自衛隊第15旅団、海上自衛隊第5航空群及び航空自衛隊第9航空団の部隊研修と史跡研修を実施した。

研修1日目は、陸上自衛隊那覇駐屯地において、第15旅団の概要及び装備品の展示説明を受け、その後の隊員との懇談では活発な意見交換が行われた。

2日目は、海上自衛隊那覇基地において、第5航空群の哨戒機P3-Cの見学の後、体験喫食では、「特製海軍カレー」に参加者一同舌鼓を打った。

また、航空自衛隊第9航空団では、空の守護神と名高い戦闘機F-15を研修し、その後、航空自衛隊那覇救難隊、陸上自衛隊第15ヘリコプター隊を研修して部隊研修を終え、最終日には旧海軍司令部壕跡、嘉数台公園等の史跡を見学して、研修の全行程を終了した。

本研修においては、沖縄地方協力本部予備自衛官班の積極的な支援を受け、即応予備自衛官雇用企業主等に対し、自衛隊は元より予備戦力の重要性の認識と更なる信頼感の醸成を図り、研修目的を達成することが出来た。

東京地方協力本部は、更に多くの方々、企業等に対して、予備自衛官等制度について理解を深めてもらうよう、今後も各種イベントを企画しつつ広報活動を実施していく。